

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年5月23日から2026年8月10日まで	
運用方針	<p>①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>②主要投資対象とする投資信託証券の組入れ外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	投資信託証券
	アモーヴァアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）	
	マネーパールマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。デリバティブの直接利用は行いません。株式への直接投資は行いません。
	アモーヴァアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）	有価証券の空売りは行いません。純資産総額の10%を超える借入れを行いません。投資信託証券への投資は行いません。
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）	
	マネーパールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

# 運用報告書（全体版）

## りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース

第135期（決算日	2025年9月10日）
第136期（決算日	2025年10月10日）
第137期（決算日	2025年11月10日）
第138期（決算日	2025年12月10日）
第139期（決算日	2026年1月13日）
第140期（決算日	2026年2月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース」は、このたび第140期の決算を行いましたので、第135期～第140期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

### SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

URL  <https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432  
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率 %	投 資 信 託 組 入 比 %	純 資 産 額 百 万 円
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率 %				
111期(2023年9月11日)	円 7,138		40	1.7	—	95.9	74	
112期(2023年10月10日)	7,096		40	△0.0	—	96.3	73	
113期(2023年11月10日)	7,240		40	2.6	—	96.2	75	
114期(2023年12月11日)	7,037		40	△2.3	—	95.8	73	
115期(2024年1月10日)	7,082		40	1.2	—	95.9	73	
116期(2024年2月13日)	7,355		40	4.4	—	95.1	73	
117期(2024年3月11日)	7,264		40	△0.7	—	95.1	72	
118期(2024年4月10日)	7,474		40	3.4	0.4	95.0	69	
119期(2024年5月10日)	7,607		40	2.3	0.6	94.8	70	
120期(2024年6月10日)	7,702		40	1.8	0.6	95.5	70	
121期(2024年7月10日)	7,928		40	3.5	0.5	95.4	72	
122期(2024年8月13日)	7,298		40	△7.4	0.5	95.2	66	
123期(2024年9月10日)	7,019		40	△3.3	0.6	97.5	62	
124期(2024年10月10日)	7,400		40	6.0	0.6	97.3	66	
125期(2024年11月11日)	7,557		40	2.7	0.3	97.1	67	
126期(2024年12月10日)	7,427		40	△1.2	0.5	96.8	66	
127期(2025年1月10日)	7,629		40	3.3	0.6	96.9	68	
128期(2025年2月10日)	7,231		40	△4.7	0.7	96.2	46	
129期(2025年3月10日)	7,156		40	△0.5	0.5	95.9	45	
130期(2025年4月10日)	6,695		40	△5.9	0.8	95.3	42	
131期(2025年5月12日)	6,901		40	3.7	0.6	96.5	43	
132期(2025年6月10日)	6,873		40	0.2	0.8	96.2	40	
133期(2025年7月10日)	6,987		40	2.2	0.5	95.9	36	
134期(2025年8月12日)	7,113		40	2.4	0.7	95.8	37	
135期(2025年9月10日)	7,112		40	0.5	0.8	96.5	33	
136期(2025年10月10日)	7,412		40	4.8	0.7	96.4	35	
137期(2025年11月10日)	7,356		40	△0.2	0.9	96.2	35	
138期(2025年12月10日)	7,489		40	2.4	0.5	96.0	35	
139期(2026年1月13日)	7,562		40	1.5	0.4	95.9	36	
140期(2026年2月10日)	7,466		40	△0.7	0.8	95.6	35	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス5)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス5)」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス5)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス5)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率		
第135期	(期 首) 2025年 8月12日	円	7,113	% —	% 0.7	% 95.8
	8 月末		7,108	△0.1	0.8	96.6
	(期 末) 2025年 9月10日		7,152	0.5	0.8	96.5
第136期	(期 首) 2025年 9月10日		7,112	—	0.8	96.5
	9 月末		7,218	1.5	0.8	96.4
	(期 末) 2025年10月10日		7,452	4.8	0.7	96.4
第137期	(期 首) 2025年10月10日		7,412	—	0.7	96.4
	10 月末		7,475	0.8	0.9	96.4
	(期 末) 2025年11月10日		7,396	△0.2	0.9	96.2
第138期	(期 首) 2025年11月10日		7,356	—	0.9	96.2
	11 月末		7,501	2.0	0.9	96.2
	(期 末) 2025年12月10日		7,529	2.4	0.5	96.0
第139期	(期 首) 2025年12月10日		7,489	—	0.5	96.0
	12 月末		7,477	△0.2	1.0	95.9
	(期 末) 2026年 1月13日		7,602	1.5	0.4	95.9
第140期	(期 首) 2026年 1月13日		7,562	—	0.4	95.9
	1 月末		7,366	△2.6	0.8	95.7
	(期 末) 2026年 2月10日		7,506	△0.7	0.8	95.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

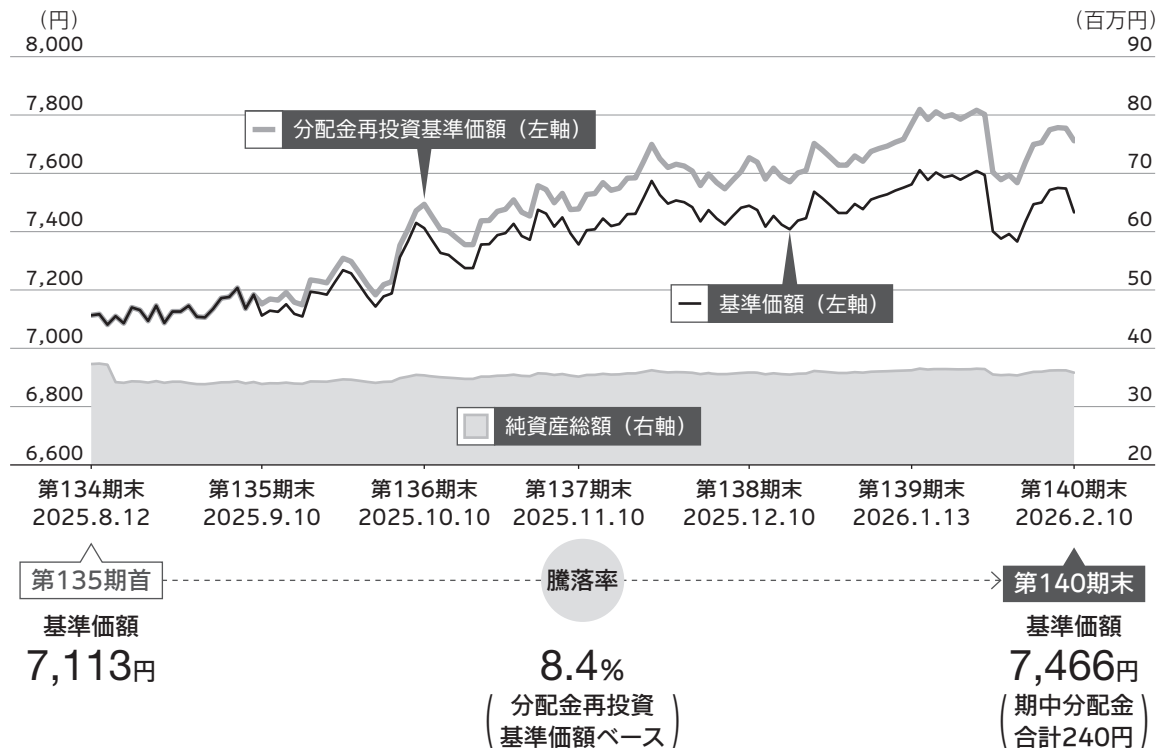
(注2) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス5)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス5)」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス5)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス5)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 運用経過

### ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2025年8月12日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース

主要投資対象である「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」がプラスに寄与したことから、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

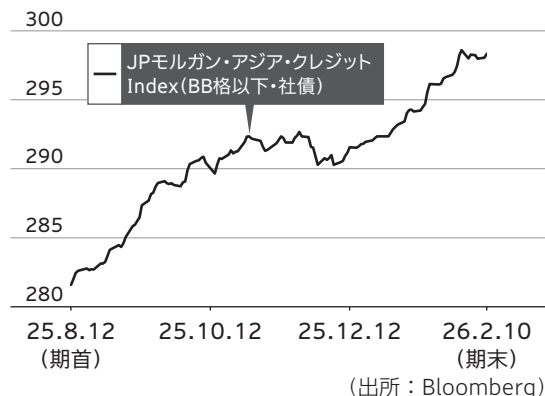
 ベビーファンド    マザーファンド    マザーファンド以外のファンド

## ● 投資環境

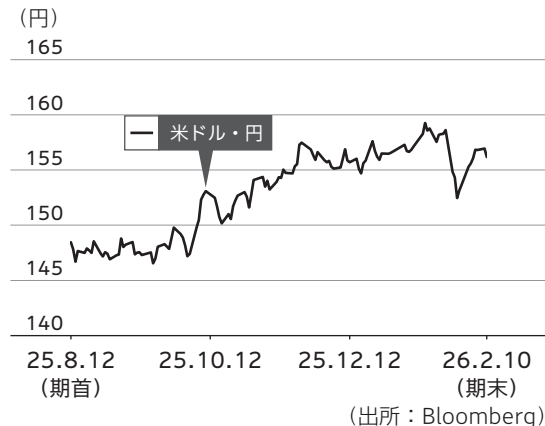
当期は、一時的な調整を挟みつつも、スプレッド縮小と利回り低下（価格は上昇）が市場を支える傾向が続きました。期の序盤、アジア・ハイ・イールド債券市場は堅調に推移して始まりました。金融緩和への期待を背景とした米国債利回りの低下やクレジットスプレッドの縮小で、良好なリターンを記録しました。中盤には、スプレッド拡大と利回り上昇（価格は下落）により、一時的にパフォーマンスはマイナスに転じる局面もありましたが、その後市場は回復し、再び良好なリターンを維持しました。終盤には米国債利回りが上昇する局面もありましたが、アジア・ハイ・イールド債券のスプレッドは一段と縮小し、利回りはさらに低下しました。

ドル円相場は円安ドル高になりました。日本の政局流動化や財政拡張懸念、FRB（米連邦準備理事会）の利下げ慎重姿勢が重なり、期中盤にかけて円安ドル高基調となりました。終盤には、米ドルの軟化や日米協調介入観測などから、一時的に円高ドル安となりましたが、日銀のハト派（金融緩和に積極的）姿勢や米国の高金利継続を背景に、再び円安へと反転しました。

市況の推移



為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を高位に維持しました。

### アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）

アジア・ハイ・イールド債券のプラス寄与に加え、ドルが対円で上昇したことからプラスになりました。

### ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）

アジア・ハイ・イールド債券のプラス寄与に加え、ドルが対円で上昇したことからプラスになりました。

### マネープールマザーファンド

コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
	2025.8.13 } 2025.9.10	2025.9.11 } 2025.10.10	2025.10.11 } 2025.11.10	2025.11.11 } 2025.12.10	2025.12.11 } 2026.1.13	2026.1.14 } 2026.2.10
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.559%	0.537%	0.541%	0.531%	0.526%	0.533%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,720	2,731	2,736	2,746	2,754	2,760

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

**決算期毎にインカム収入<sup>\*</sup>を中心に分配を行うことを目指すファンドです。**

<sup>\*</sup> インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

## ● 今後の運用方針

### りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース

今後も、「アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）」への投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）

アジアのクレジット市場については、慎重ながらも建設的な見解を維持しています。良好なファンダメンタルズと需給要因の継続が見込まれ、タイトなクレジットスプレッドが続くものと見ていますが、スプレッドのさらなる縮小余地は限定的で、リターンの主な原動力はキャリー収益となると予想しています。米国の利下げペースの変化や、マクロ経済の方向性、地政学リスクの継続などの不確実性によるクレジットスプレッド拡大の可能性には引き続き注意が必要と考えています。こうした環境下、キャリー収益を重視しつつ、リスク管理を徹底する投資姿勢をとる所存です。

### ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス5）

足元ではアジア・ハイ・イールド債券のスプレッドは縮小しており、絶対的なバリュエーションは割高に見えます。ややタカ派（金融引き締め積極的に）と見られるケビン・ウォーシュ氏が次期FRB議長に指名されたことで、今後長期債に比べて中期債が選好される可能性があります。一方で、引き続きクーポンなどのキャリー収益が主なリターンの源泉になると、基本的に考えているため、市場に対して中立的なデュレーションを維持し、相対的にキャリー収益を重視して選別的に投資を行う方針です。

### マネープールマザーファンド

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第135期～第140期 2025.8.13～2026.2.10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	37円	0.505%	(a)信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,357円です。
(投信会社)	(15)	(0.208)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(21)	(0.280)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.022	(b)その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.017)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>39</b>	<b>0.527</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

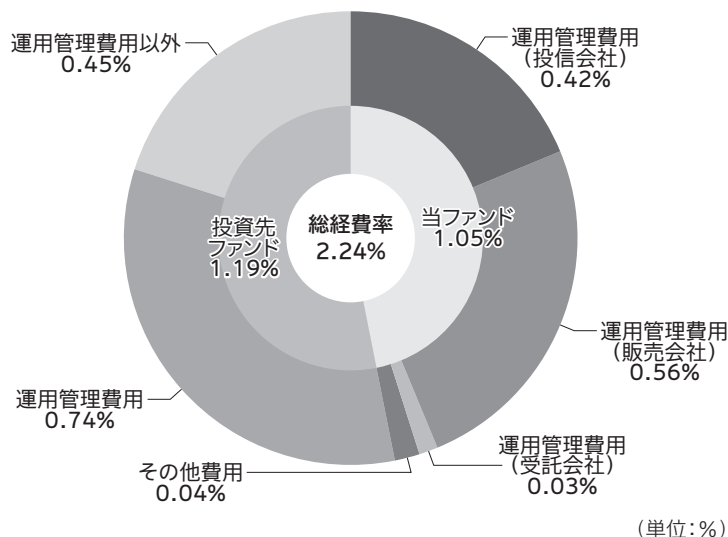
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.24%**です。



総経費率(①+②+③)	2.24
①当ファンドの費用の比率	1.05
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.45

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年8月13日～2026年2月10日)

投資信託証券

銘柄		第135期～第140期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	Amova Asia Investment Series-Amova AsiaHighYieldBondFund V	口	千円	口	千円
		—	—	5,297	3,000

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年8月13日～2026年2月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第134期末	第140期末		
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
	Amova Asia Investment Series-Amova AsiaHighYieldBondFund V	31,970	26,672	16,091	44.9
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 5 (JPY)	29,423	29,423	18,150	50.7
	合 計	61,393	56,095	34,242	95.6

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第134期末	第140期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネープールマザーファンド	360	360	361

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第140期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2026年2月10日現在)

項 目	第140期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	34,242	95.0
マネーパールマザーファンド	361	1.0
コール・ローン等、その他	1,437	4.0
投資信託財産総額	36,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末
	2025年9月10日現在	2025年10月10日現在	2025年11月10日現在	2025年12月10日現在	2026年1月13日現在	2026年2月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	34,093,099	35,577,817	35,362,648	36,049,207	36,454,661	36,040,972
コール・ローン等	1,048,045	1,128,376	1,207,851	1,285,478	1,363,913	1,437,134
投資信託受益証券(評価額)	32,684,171	34,088,450	33,793,661	34,402,483	34,729,312	34,242,221
マネーパールマザーファンド(評価額)	360,873	360,981	361,125	361,234	361,414	361,594
未収利息	10	10	11	12	22	23
(B) 負債	218,525	219,653	221,715	221,390	225,770	220,234
未払収益分配金	190,518	190,808	191,087	191,369	191,647	191,919
未払信託報酬	27,717	28,545	30,313	29,716	33,775	28,028
その他未払費用	290	300	315	305	348	287
(C) 純資産総額(A-B)	33,874,574	35,358,164	35,140,933	35,827,817	36,228,891	35,820,738
元本	47,629,629	47,702,001	47,771,750	47,842,333	47,911,962	47,979,814
次期繰越損益金	△13,755,055	△12,343,837	△12,630,817	△12,014,516	△11,683,071	△12,159,076
(D) 受益権総口数	47,629,629口	47,702,001口	47,771,750口	47,842,333口	47,911,962口	47,979,814口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,112円	7,412円	7,356円	7,489円	7,562円	7,466円

(注1) 当作成期間(第135期～第140期)における期首元本額52,443,337円、期中追加設定元本額424,290円、期中一部解約元本額4,887,813円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第135期0.7112円、第136期0.7412円、第137期0.7356円、第138期0.7489円、第139期0.7562円、第140期0.7466円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第135期13,755,055円、第136期12,343,837円、第137期12,630,817円、第138期12,014,516円、第139期11,683,071円、第140期12,159,076円

## ○損益の状況

項 目	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
	2025年8月13日～ 2025年9月10日	2025年9月11日～ 2025年10月10日	2025年10月11日～ 2025年11月10日	2025年11月11日～ 2025年12月10日	2025年12月11日～ 2026年1月13日	2026年1月14日～ 2026年2月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	247,494	247,386	247,432	247,423	247,691	247,683
受取配当金	247,139	247,139	247,139	247,139	247,139	247,139
受取利息	355	247	293	284	552	544
(B) 有価証券売買損益	△ 36,406	1,404,387	△ 294,645	608,931	327,009	△ 486,911
売買益	13,927	1,404,387	144	608,931	327,009	180
売買損	△ 50,333	—	△ 294,789	—	—	△ 487,091
(C) 信託報酬等	△ 33,947	△ 28,845	△ 30,628	△ 30,021	△ 34,123	△ 28,315
(D) 当期損益金(A+B+C)	177,141	1,622,928	△ 77,841	826,333	540,577	△ 267,543
(E) 前期繰越損益金	△10,787,522	△10,800,899	△ 9,368,779	△ 9,637,707	△ 9,002,743	△ 8,653,813
(F) 追加信託差損益金	△ 2,954,156	△ 2,975,058	△ 2,993,110	△ 3,011,773	△ 3,029,258	△ 3,045,801
(配当等相当額)	( 9,670,829)	( 9,690,514)	( 9,709,563)	( 9,728,878)	( 9,748,002)	( 9,766,697)
(売買損益相当額)	(△12,624,985)	(△12,665,572)	(△12,702,673)	(△12,740,651)	(△12,777,260)	(△12,812,498)
(G) 計(D+E+F)	△13,564,537	△12,153,029	△12,439,730	△11,823,147	△11,491,424	△11,967,157
(H) 収益分配金	△ 190,518	△ 190,808	△ 191,087	△ 191,369	△ 191,647	△ 191,919
次期繰越損益金(G+H)	△13,755,055	△12,343,837	△12,630,817	△12,014,516	△11,683,071	△12,159,076
追加信託差損益金	△ 2,954,156	△ 2,975,058	△ 2,993,110	△ 3,011,773	△ 3,029,258	△ 3,045,801
(配当等相当額)	( 9,670,829)	( 9,690,514)	( 9,709,563)	( 9,728,878)	( 9,748,002)	( 9,766,697)
(売買損益相当額)	(△12,624,985)	(△12,665,572)	(△12,702,673)	(△12,740,651)	(△12,777,260)	(△12,812,498)
分配準備積立金	3,284,959	3,337,257	3,362,995	3,410,392	3,451,749	3,479,244
繰越損益金	△14,085,858	△12,706,036	△13,000,702	△12,413,135	△12,105,562	△12,592,519

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2025年8月13日～2026年2月10日)は以下の通りです。

項 目	2025年8月13日～ 2025年9月10日	2025年9月11日～ 2025年10月10日	2025年10月11日～ 2025年11月10日	2025年11月11日～ 2025年12月10日	2025年12月11日～ 2026年1月13日	2026年1月14日～ 2026年2月10日
a. 配当等収益(費用控除後)	213,580円	243,106円	216,825円	238,766円	233,004円	219,414円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	9,670,829円	9,690,514円	9,709,563円	9,728,878円	9,748,002円	9,766,697円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	3,261,897円	3,284,959円	3,337,257円	3,362,995円	3,410,392円	3,451,749円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	13,146,306円	13,218,579円	13,263,645円	13,330,639円	13,391,398円	13,437,860円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,760円	2,771円	2,776円	2,786円	2,794円	2,800円
g. 分配金	190,518円	190,808円	191,087円	191,369円	191,647円	191,919円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

## ○分配金のお知らせ

	第135期	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

### <分配金をお支払いする場合>

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

### <分配金を再投資する場合>

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

### <課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税  
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

## ○お知らせ

- ・当該証券投資信託が投資対象とする外国籍投資信託の運用会社が社名変更となり、本変更により、投資対象とする外国籍投資信託の名称も変更となるため、信託約款に所要の変更を致しました（2025年9月1日）。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■アモーヴァ アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Amova Asia Investment Series-Amova アジア・ハイ・イールド・ボンド・ ファンド クラス5)
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)
運用の基本方針	主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。
申込・解約手数料	ありません。
投資顧問会社	アモーヴァ・アセットマネジメント アジア リミテッド

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

## ■ 包括利益計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで)  
アメリカドル

収益	
銀行利息	51,177
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	698,650
為替差損益	△ 5,028
収益合計	<u>744,799</u>
費用	
支払利息	△ 1,854
投資運用報酬	△ 196,169
投資運用報酬 払戻料	6,686
管理報酬	△ 11,462
監査報酬	△ 56,192
保管報酬	△ 19,683
受託者報酬	△ 15,009
その他営業費用	△ 38,703
営業費用合計	<u>△ 332,386</u>
税引前・分配前利益	412,413
税金	—
税引後・分配前利益	412,413
分配金	<u>△6,102,199</u>
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	<u>△5,689,786</u>

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment Series Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

## ■ 組入上位銘柄

(2024年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
GLP PTE. LTD. 3.875% 04-JUN-2025	シンガポール	3.875%	2025/6/4	3.8%
YANLORD LAND (HK) CO., LIMITED 5.125% 20-MAY-2026	中国	5.125%	2026/5/20	2.8%
SAN MIGUEL GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 8.125% PERP	フィリピン	8.125%	永久債	2.5%
GREENTOWN CHINA HOLDINGS LIMITED 4.7% 29-APR-2025	中国	4.700%	2025/4/29	2.5%
INDIA CLEAN ENERGY HOLDINGS 4.5% 18-APR-2027	インド	4.500%	2027/4/18	2.4%
PINGAN REAL ESTATE CAPITAL LIMITED 3.45% 29-JUL-2026	中国	3.450%	2026/7/29	2.3%
NICKEL INDUSTRIES LIMITED 11.25% 21-OCT-2028	インドネシア	11.250%	2028/10/21	2.2%
LS FINANCE (2017) LTD. 4.8% 18-JUN-2026	香港	4.800%	2026/6/18	2.1%
GOLOMT BANK LLC 11.0% 20-MAY-2027	モンゴル	11.000%	2027/5/20	2.1%
GREENTOWN CHINA HOLDINGS LIMITED 5.65% 13-JUL-2025	中国	5.650%	2025/7/13	2.0%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

## ■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド  (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス5)</p>
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)
運用の基本方針	主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。  ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。  ③投資信託証券への投資は行いません。</p>
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77%  ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。  ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>
申込・解約手数料	ありません。
投資顧問会社	ライオングローバルインベスターズ

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

## ■ 包括利益計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで)  
アメリカドル

### 収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	△	8,814
為替差損益	△	82,342
受取利息		98,076
その他収益		—
<b>収益合計</b>		<b>6,920</b>

### 費用

投資運用報酬		123,751
管理報酬		2,411
監査報酬		26,306
保管報酬		1,955
名義書換費用		270
受託者報酬		12,000
その他営業費用		28,133
<b>営業費用合計</b>		<b>194,826</b>

営業損失 △ 187,906

分配金 △4,096,025

税引前・分配後損失 △4,283,931

税金 —

税引後・分配後損失 △4,283,931

営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少 △4,283,931

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

## ■ 組入上位銘柄

(2024年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	7.0%
INDIKA INTI ENERGI PT 8.75% DUE 07/05/2029	インドネシア	8.750%	2029/5/7	5.4%
RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	5.2%
SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	4.1%
STUDIO CITY FINANCE LTD 5% DUE 15/01/2029	マカオ	5.000%	2029/1/15	3.8%
FAR EAST HORIZON LTD 6.625% DUE 16/04/2027	中国	6.625%	2027/4/16	3.5%
SHRIRAM FINANCE LTD 6.15% DUE 03/04/2028	インド	6.150%	2028/4/3	3.4%
NWD MTN LTD 8.625% DUE 08/02/2028	香港	8.625%	2028/2/8	3.3%
SHANGHAI COMMERCIAL BANK 6.375% DUE 28/02/2033	香港	6.375%	2033/2/28	3.2%
PRUDENTIAL FUNDING ASIA 2.95% DUE 03/11/2033	香港	2.950%	2033/11/3	3.2%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

# マネープールマザーファンド

## 運用報告書

第14期（決算日 2025年8月12日）

＜計算期間 2024年8月14日～2025年8月12日＞

マネープールマザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率			
10期(2021年8月10日)	円 10,011		% △0.1		% —	百万円 133
11期(2022年8月10日)	10,001		△0.1		—	87
12期(2023年8月10日)	9,990		△0.1		—	88
13期(2024年8月13日)	9,983		△0.1		55.1	72
14期(2025年8月12日)	10,006		0.2		72.2	55

(注1) 基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰 落	率		
	(期 首)		円		%		%
	2024年	8月13日	9,983		—		55.1
	8月末		9,984		0.0		55.1
	9月末		9,985		0.0		58.8
	10月末		9,986		0.0		58.8
	11月末		9,987		0.0		63.7
	12月末		9,987		0.0		63.7
	2025年	1月末	9,988		0.1		72.0
	2月末		9,990		0.1		54.2
	3月末		9,993		0.1		54.1
	4月末		9,996		0.1		72.2
	5月末		9,999		0.2		72.2
	6月末		10,002		0.2		72.3
	7月末		10,005		0.2		72.2
	(期 末)						
	2025年	8月12日	10,006		0.2		72.2

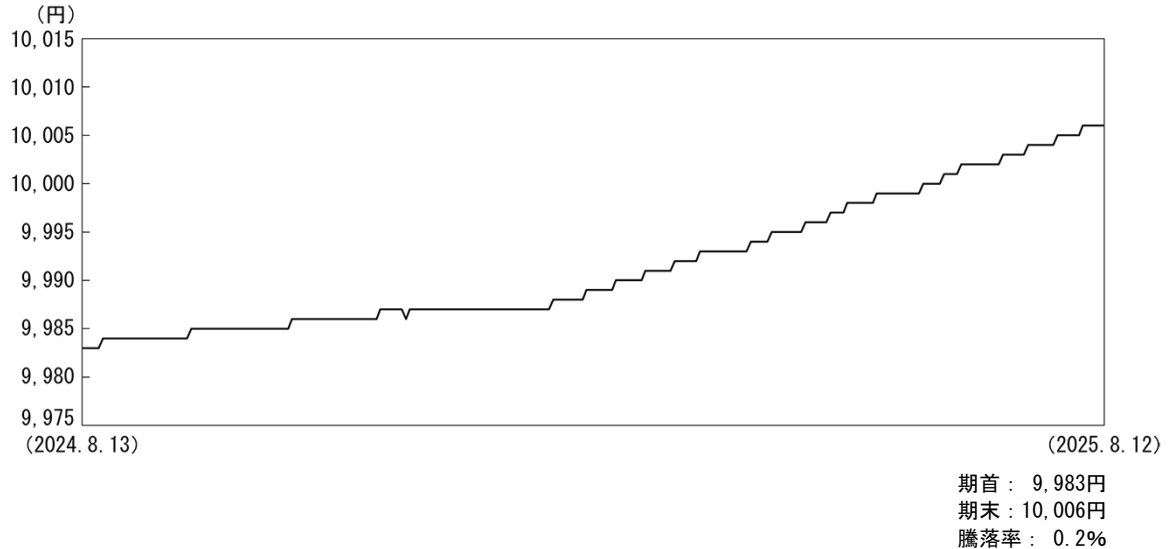
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

## ○運用経過

(2024年8月14日～2025年8月12日)

## ■基準価額の推移



## ■基準価額の変動要因

短期金融資産の利回りがプラスで推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を上回りました。

## ■投資環境

2024年12月までは、無担保コールレート（オーバーナイト物）は概ね0.20%～0.25%の範囲で推移しました。2025年1月に日銀が政策金利を引き上げた後は、概ね0.45%～0.50%の範囲で推移しました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■今後の運用方針

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年8月14日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2024年8月14日～2025年8月12日)

### 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 209,897	千円 — (210,000)

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還等による増減分です。

(注3) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年8月14日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年8月12日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	40,000 (40,000)	39,977 (39,977)	72.2 (72.2)	— (—)	— (—)	— (—)	72.2 (72.2)
合 計	40,000 (40,000)	39,977 (39,977)	72.2 (72.2)	— (—)	— (—)	— (—)	72.2 (72.2)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は非上場債で内書き。

(注4) 当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1309回国庫短期証券	—	10,000	9,997	2025/9/1
第1314回国庫短期証券	—	10,000	9,995	2025/9/22
第1318回国庫短期証券	—	10,000	9,993	2025/10/14
第1322回国庫短期証券	—	10,000	9,990	2025/11/4
合 計		40,000	39,977	

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2025年8月12日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	39,977	72.2	39,977	72.2
コール・ローン等、その他	15,381	27.8	15,381	27.8
投資信託財産総額	55,358	100.0	55,358	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月12日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	55,358,428	
コール・ローン等	15,380,968	
公社債(評価額)	39,977,320	
未収利息	140	
(B) 負債	0	
(C) 純資産総額(A-B)	55,358,428	
元本	55,322,707	
次期繰越損益金	35,721	
(D) 受益権総口数	55,322,707口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,006円	

(注1) 信託財産に係る期首元本額72,646,896円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額17,324,189円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

    りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース  
        30,006,333円

    りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース  
        12,112,794円

    りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルリアルコース  
        11,997,917円

    りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース  
        845,150円

    りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース  
        360,513円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.0006円

## ○損益の状況 (2024年8月14日～2025年8月12日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	51,000	
受取利息	51,000	
(B) 有価証券売買損益	82,070	
売買益	82,070	
(C) 当期損益金(A+B)	133,070	
(D) 前期繰越損益金	△121,538	
(E) 解約差損益金	24,189	
(F) 計(C+D+E)	35,721	
次期繰越損益金(F)	35,721	

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を致しました(2025年4月1日)。